

新山協ニュース

会長 藤井 信
 新潟県山岳協会
 長岡市学校町3-11-7
 TEL 0258-32-4835

事務局 土田幸雄
 長岡市中沢4-426-4
 TEL 0258-39-2700

編集者 遠藤家之進正和
 上越市本城5-4-102
 TEL 0255-26-9986

「妻に引かれて山登り」と

「観天望気」

新潟市小張木183-29

早川久義

私が山登りを始めたのは3年前です。今までは本気に好きで登るのではなく、運動不足解消と健康のため(本音はやや肥満ぎみのため……)ただ山道を歩くといった感じでしたので、登山に興味を持ち、山登りは積極的な妻に誘われて登っております。

とが無いほど余裕のある楽しい登山になりました!!
 あれから、日頃何かにつけ空を見上げて「観天望気」を心がけておりますが、あまり上ばかり見て、人や物にぶつからなければ良いが!!と思ふ此頃です。

中高年登山教室

日時 平成11年9月11日

12日

会場 飯縄山

参加者 一般123名

役員30名

概要 最高年令 男77才

平均年令 女71才

男60才

女54才

夫婦参加 18組

参加状況

初めて 54%

2回目 15%

3回目 10%

4回以上 21%

「山はゆつくりと気品良く登りましょう!!」と言われ、その通り一步一步ゆつくりと又気品良く(?)登ったため、ひどく遅れる人もなく、お互いに交わす会話も途切れるこ



飯縄山から瑠璃山への下りで

新年会案内

日時 2000年1月23日(日)
 13時開宴

会場 長岡市柏町2-3-11
 東泉閣
 電話 0258-35-2046

会費 6,000円

申込 〒956-0056
 新発田市大栄町5-8-15
 田辺信行
 電話 0254-24-8057

ハガキ・文書にて申込願います。

理事会開催案内

新年会に先立ち同会場にて、理事会を開催します。
 役員、理事、委員各位は10時までに参加願います。

全国大会のご支援に感謝します

三条工業高校山岳部

顧問 吉田光二

今年の全国高校総体登山大会は、岩手県の早池峰・八幡平・七時雨山山系を会場に、8月7日から11日まで開催されました。

メンバーは、小林怜央(3年)、稲垣穂高(3年)、原卓史(3年)、山浦隆法(3年)

のパーティ編成で大会に臨みました。

岩手山が火山活動を活発化させ、入山禁止となったため、七時雨山に山城を変更。広域の移動を伴う大会となりました。

大会は予想をはるかに超えた。

た酷暑となりましたが、三工山岳部の選手たちは充分に力量を発揮し、全国46校中8位となりました。これも、激励していただいた多くの皆様のおかげと感謝いたしております。

「小島六郎文庫」ホームページのお知らせ

小出町出身で、平成8年12月、96歳の天寿を全うされた、日本山岳協会元副会長小島六郎氏の山岳関係図書千点が

小出町立図書館に寄贈されました。

そのうち約500点が整理を終え展示されています。ま

<http://www.ntl-net.ne.jp/yamaandyoshida>

情報提供 県立塩沢商工高校 吉田理一

理事会報告

期日 平成11年10月16日(土)
会場 糸魚川市榎山カヤ場
大野自工山荘

出席者

藤井信、土田幸雄、橋本正

議事

己、小林由夫、山田智子、石田国夫、内藤修、阿部信

一、遠藤家之進正和、七澤

恭四郎、渡辺正之、片桐一

夫、稲田春男、坂井厚、森

庄一、佐藤照夫、井村健一、

杉本敏

1、理事長報告

「花が彩る新潟の山歩き」

の編集状況の報告があり、

20編を掲載し、3月末には

発刊の見通しであり、中身

の濃い本ができるとのこと。

2、各専門委員会報告等

6月から10月までの各専門委員会にて実施した行事等の報告があった。

3、平成11年度新潟県競技力水準向上対策事業への協力について

糸魚川市が実施しているスポーツクライミング事業に指導者の派遣と運営費の補助等ジュニア育成事業への協力報告があった。

4、平成11年度新潟県競技スポーツ指導員養成事業の取り組みについて

例年実施している指導員研修会と併せて、スポーツ指導員養成を目的に開催することとなった。

5、平成11年11月14日

技術講習

平成11年12月18日

※興味のある方の多数の参加を待っています。

5、平成12年度文部省安全登山指導者(中高年)講習会の取組みについて

期日を平成12年9月1日

3日、会場を火打山近辺の骨子を基に技術指導委員会の協力を得、準備委員会を立上げ、文部省、県との

打合せに対応し、開催への準備体制を整えることとなった。

6、熊本国体応援とカンパについて

入賞を目指しての強化合宿経費等を含め、大会での活躍を願うカンパを行うことが決議され、理事、加盟団体等へ協力をよびかけることとなった。

7、9月末中間決算について

事務局から分担金未納状況を含め9月末までの執行状況の報告があった。未納加盟団体へは再度連絡することとした。

8、その他

○県山岳協会のホームページ開催の検討について

(遠藤記)



一度目は山本長官機里帰りプロジェクトに参加して、パワニューギニアへ、今回の南極へと何事にも好奇心の強い本人であるから、三度目も何を求めて出かけるのではないか。と藤井協会長の祝辞からはじまった片桐一夫氏の501日にわたる南極での活動を著した出版を祝う会が、去る8月21日ホテルニューオータニ長岡において40余名の岳友の出席を得て開催されました。

「南極越冬501日」

出版を祝う会から



極寒とはどの位の寒さなのか。オーロラは、太陽のハロー現象、沈まない太陽、見ることのできない景観や体験談を含め出立から南極での活動の映写を見ながら新ためて厳しい南極に想いをはせるものとした。

また501日も長い間、家庭を守り、待っていた奥さんの心情をみなさんでねぎらっていました。

出場者への応援カンパをお願いしたところ左記の方がたから協力があって11月4日現在16万5千円となっています。ありがとうございます。今後も1口5千円で受付けていますのでよろしく願います。

室賀輝男、内藤修、石田国夫、藤井信、平田大六、橋本正己、山田智子、土田幸雄、杉本敏、七澤恭四郎、坂井厚、小野健、北村猛、片桐一夫、草間雄一、井村健一、遠藤家之進正和、本望英紀、朝日山岳会

熊本国体

応援カンパのお礼

片桐さん達第39次隊が掘削した2500Mの水床コアの分析から33万年分の南極の気温の推定に成功し、3回の氷河期があったと10月5日の新潟日報に掲載されましたが、南極観測隊の活動が、研究者によって科学の進展に寄与している基となっています。遠く離れた南極に想いをはせるのにぜひ一読をお進めします。

(遠藤記)

カムチャッカの高山植物 ⑳

むささび会 加藤明文

クロユリ (ユリ科)

分布：日本の他不明



高山植物ではないが、カムチャッカでは草むらの中に良く群生していた。日本では北海道のサロベツ原野や網走原生花園などで見つけられるが、それよりも人工的に植えられたものの方が良く目につく。この花はユリ属ではなく角田山などにあるコシノコバイモと同属のバイモ属に入り、飯豊連峰や北岳などの高山に咲いているのはミヤマクロユリと云い、クロユリよりも黒味がうすい、黄色い点々が広がってしまったものもありこれをキバナノクロユリと呼んでいる。いずれにせよ日本産との相違点は見つからなかった。

花の色：濃紫(黒に近い)

お知らせ

中国・新疆ウイグル自治区

「トモルテイ峰」登山隊募集

本年登山計画したトモルテイ峰ですが、諸事情で延期となつていましたが、海外登山委員会として、平成12年の夏に再度挑戦することとなりました。

総隊長として藤井協会長が就任することで準備に入るこ
ととなっております。
問い合わせ
海外登山委員会委員長
片桐一夫

〒940-2003

長岡市上除町甲1762-1

TEL・FAX

0258-46-6448

Eメール [kk@konomi.nagaoka ut. ac. jp](mailto:kk@konomi.nagaoka.ut.ac.jp)

チヨモランマ2000計画に

小林重一氏参加

平成12年3月から6月にかけて実行される東北地区海外登山研究会の主催するチヨモランマ登山計画に、海外登山副委員長小林氏が参加することとなりました。

登山ルートはチベット側北陵とのことで研究と検討を重ねてきており、鋭意準備を進めているとのこと。
当協会も名義後援をしており、登山隊の成功を祈りあげると共に、ご支援をお願いいたします。

北信越5県連絡協議会

今年度の本國体、北信越國体の総括、来年度の北信越國体の運営等について左記のとおり連絡協議会が開催されます。

日時 平成11年11月27日(土)

28日(日)

会場 妙高高原町大字赤倉ホテル秀山

中高年登山者に見る遭難事故

発生の問題点について

日山協普及委員会が最近の10年間をみてまとめたものが登山月報に掲載されました。事故防止に役立ててください。

1、事故発生防止
a、原因

- (1) 危険に対する自覚に乏しい。
- (2) 登っていることを登山として認識していない。
- (3) 自信過剰である。
- (4) 人生の残りに切迫感を持ち、自省が無理にみえる。
- (5) 管理従属については無条件に拒絶する。
- (6) 安易で一過性のツアー登山等の経験にものをいわす。

- b、対策
- (1) 組織に加入してもらい教育する。
- (2) 幼児期から危険の自覚と社会規範の遵守を実践させる。
- (3) 組織ならびに現地管理担当が規範(モラルを含む)の遵守を徹底する。反則金も徹底する。

- (4) 管理維持のためには入山料を設定する。
- 2、事故発生への対応
- a、事故者分類

- (1) 社会規範に沿っているかどうかに対する対応の配慮。
- (2) 自己過失とは認めないで現地の指示、施設等の問題に転嫁されないような防御手段が必要である。
- (3) 商的契約に反していない場の対処が困難である。
- (4) 費用負担元が不確定、または支払いに疑いのある場合の対処を明確にして普及し、混乱を避けたい。

- b、連絡、危険、救急
- (1) 器具への運用が、地域、通話帯独占等により不都合のあることの認識を普及させる。
- (2) 技術の維持が一過的となりやすく役にたつ確立が低い。
- c、捜索、搬出
- (1) 他の力を必要とする場合、依頼先の選択を間違えたと不都合や異常な事態になることの認識の普及が必要である。
- (2) 技術の開発と維持については、関係するものが同一の理解で協力できるように啓蒙する必要がある。

登山用品専門店

— 信頼できるパートナー —

大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736

登山・アウトドアの専門店



新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)